

熱いぜ、
青年部。

まいど!! 青年部です。



おかげ様で、志木市商工会青年部は
今年で設立40周年を迎えます。

地域の商工業を躍動させ、地域の
一員として未来に向けた活力ある社会
を目指し、今後も活動してまいります。



※『どろんこ2011!!』の様子は平成23年9月2日、テレビ東京の「おはスタ」にて放送されました。

志木市商工会青年部は皆様と繋がります。

平成23年度部長の西川和人と申します。私達志木市商工会青年部は主に志木市内にて企業や店舗を経営する若手経営者・後継者、またはその企業の中核を担う人材として活躍する満40歳までの部員にて構成され、現在約80名が在籍しております。今年度は「人に学び、人に磨く」をスローガンに、部員が本気で向き合い磨き合うことで部員間の結びつき、家族や社員との結びつき、そして市民の皆様と青年部の結びつきを強く意識して活動を行って参りました。その活動内容と志木を愛する気持ちを余すことなくこの「まいど!!青年部です。」に込めさせて頂きました。この紙面を通じ私達が皆様と繋がることで、身近にお役に立つ存在としてご認識頂き、顔の見える安心なコミュニティの実現へと繋がれば幸いです。今後益々、身近なプロフェッショナルとして皆様が必要とされる青年部となるように努力し、志木の活性化を実現して参ります。

志木市商工会青年部
部長 西川 和人
(㈱西武エースプランニング)

どろんこ
熱いぜ、
とこと。

「青年部活動で地域活性化を」

東日本大震災から早一年が経過し地震、津波、原発の影響で現地ではまだまだ復旧のめどが立っていない所も数多く、その爪痕の深さを物語っています。そんな中でも仲間達と力を合わせて地場産業の復活のために頑張っている姿を報道等で見ると、志木市商工会も昨年6月1日に青年部の協力を得て石巻市の河北商工会へ救援物資を届けることができたことを良かったと思っています。当日は往復日帰りの強行軍でしたが青年部の行動力に頼もしさを感じました。西川年度の「人に学び、人に磨く」の元に部員間の連携と信頼がより一層強くなったことと思います。青年部のメンバーは日頃、商工会青年部という組織を元に自身の研鑽と地域の発展の後継者としてあらゆる分野で活躍しています。学校・PTA・町内会・消防団・スポーツ団体等地域としてその存在はなくてはならないものになっています。再生日本の今年、今こそ創立40周年を迎える商工会青年部の活動に期待しています。



志木市商工会
会長 清水 良介

どろんこ2011!! 笑顔と元気をいっぱい!

8月21日(日)に志木市役所駐車場で青年部主催の一大イベントである「どろんこ2011!!」を開催しました。今回で7回目を迎えた「どろんこイベント」は「笑顔と元気をいっぱい!!」をコンセプトに、雨天にもかかわらず約200名の市民の皆様にご参加頂きました。どろんこボール目玉企画の「どろんこ宝探し」「水鉄砲合戦」の他、青年部との触れ合いや、親子の触れ合い等をテーマとしたブースなどで泥だらけになった沢山の子供たちの笑顔を見ることができました。この事業を通して、この街に住む人々との積極的な交流を生み出し、子供たちだけではなく、地域住民の夢や希望が溢れる地域環境を作り出す一助となれば幸いです。今年も8月に開催予定です。一人でも多くの方に参加して頂き、明るく元気な笑顔を作って貰えるように、私たちも色々企画を練っていきますので、是非ご参加ください!

エンジョイ・スタディ委員会担当

6月例会「魅力ある人づくり職場づくり」～夢とありがとう～

今年度初の例会は講師例会として、フォーシズ志木ふれあいプラザにて行わせて頂きました。当日は、人づくり日本を目標に掲げ「本気の朝礼」を取り入れる事で、活気あふれる職場造りをされている、(株)絶好調の代表取締役吉田将紀氏をお迎えし、熱気に満ちた例会を行う事ができました。また講演を聞くだけではなく、本気のジャンケンを行う事で勝者も敗者も、互いに大きな声を出し喜びあったり、悔しがったり等の全員参加型での人の魅力の引き出し方や、自己の魅力向上へと繋がる、楽しく学べる例会になりました。



(副委員長：井坂 秀明/㈱ユープラン)

10月例会「新たな自己の発見」～生まれ変わる日～

楽しく学ぶ例会第2弾として10月例会では、ゲーム形式にて部員の資質向上を目指しました。
 ・第1に、コミュニケーション能力の向上を目的とし、題材のイラストを口頭だけでいかに相手に正確に伝えられるかは、より多くのコミュニケーションを必要とします。
 ・次に、チームワーク能力の向上を図る上では、グループ全員が協力をしないと完成しない図形を、型紙を用いて体験しました。
 ・最後に、リーダーシップ能力の向上を目的とし、各々が自分の役割を考え、いかにリーダーに協力し、一つの答えを導きだせるかを学びました。
 ・この体験により自分が知る自分だけではなく、他人に映る自分を知ることにより、今後の向上すべき方向が明確になり、新たなスタートをきることができたのではないのでしょうか。
 (常任委員：隈川 誠吾/ヘアースタylingサロンくまかわ)



ハートフル・ハッピー委員会担当

7月例会「2011北本夏の陣！」～ほたるを見てハッピーになろう！～

7月31日、7月親睦例会が北本市にある北本自然観察公園にて行われました。野外イベントでは、自然の生き物ゲットだぜ！ゲームをチーム戦で行い、双眼鏡や虫取り網などを使い昆虫や動物をデジタルカメラに収めていきました。そしてメインイベントのほたる&セミの羽化鑑賞では幻想的なほたるの姿とセミの羽化も観察することができました。どちらも大人も子どもも一緒になって夢中になりあっという間に帰りの時間となってしまいました。
 (委員長：古田 征也/㈱ホープ印刷)



県外新年会「2012伊香保冬の陣！」～絆・Endless Night～

去る1月15日に部員34名にて伊香保温泉にて県外新年会を実施致しました。温泉地という普段とは違った場所での膝をつき合わせて話すことは、メンバー同士をより深く理解し、結束を深める一助となったと思います。
 ・また、一泊という日程ながら部員の約半分は参加できたということも大いに意義があったものと思います。
 ・志木に住み志木で商売をする我々が、将来に渡り共に商売ができる仲間作りに大いに役立つ絆を深めました。
 (副委員長：鈴木 幸浩/㈱ノスク)



コミュニティー・リレーションズ委員会担当

9月例会「青年部からはじまるコミュニティー・リレーションズ！」～つなげよう！おおきなWA！～



『コピーを使って地域と青年部を繋げることができないか？』そんなテーマを掲げた9月例会は平日の夜にもかかわらず40名の部員が集い、白熱した議論が繰り広げられました。第一部の委員会発表では過去の事業を振り返り「地域とのつながり」を再認識するとともに新たな一歩のためのきっかけが作れました。第二部のグループディスカッションでは、自由な発想のもと様々な意見やアイデアが各テーブルで湧き起こり、実りある時間が過ごせたと思います。『実行に移さなければ意味が無い！』と当委員会の平光委員長の熱い想いから、本例会で出た意見やアイデアは、その後の青年部活動に活かされることとなります。今後の青年部の活動を是非注目していただきたい！ (副委員長：神山 威仁/山川金属興業㈱)



部員拡大室

部員拡大室は「新入部員が自らの意思で入部したくなる環境、入部して良かったと思われる環境を築き、将来にわたって継続・安定的に部員拡大が行われ、青年部活動の活性化に繋がっていく。」ことを理念にかけました。年間目標人数は15人。3月1日現在、16名もの部員が入部してくださり、埼玉県内で第一位となりました。これも、部員拡大室メンバーと応援してくださる部員、OBの方々の皆様のおかげです。ありがとうございました。
 (部員拡大室室長：大村 相哲/大村商事㈱)



(平成24年3月1日埼玉県商工会連合会「リーダー会議」において部員増強成功事例を発表する大村室長)

Web管理室

志木市商工会青年部の活動は自身の納める会費と、助成金と呼ばれる言わば税金で活動を行っております。ですので、どのような活動を行っているのかを市民の皆様へ報告する義務が有ります。その一つが当広報誌であり、もう一つがホームページです。市民の皆様には是非、ホームページをご覧になって頂き、我々が志木の街のためにシッカリ活動しているかどうか、目を光らせて見守って頂きたいと思っております。我々が普段どのような活動をしているのか、どのように頑張っているかを一番伝えたいのが市民の皆様です。志木の街の為に若者たちが日夜頑張っているという事を知って頂き、市民の皆様には、我々の愛するこの街で安心して暮らして頂き、いつまでも、共にこの街を愛して頂ければと思います。
 (Web管理室室長：山下 浩/㈱アクアサポート)



東日本大震災復興支援

～明日への希望～

未曾有の東日本大震災発生から約1カ月半後の平成23年5月3日、被災地復興支援の一環として宮城県塩釜市に行きました。



我々志木市商工会青年部は、社団法人朝霞青年会議所の被災地ボランティアのサポート役として、西川部長はじめ4名のメンバーで参加しました。

志木を夜中に車で出発して約5時間後、塩釜市内に到着。海岸から数キロも離れているにも関わらず市内には2メートル程浸水した跡が残っていました。さらに塩釜の沿岸部に到着するとそこにはテレビで見た光景が…。大津波は3メートル近くある防波堤を軽く超え、町を呑み込んでいました。その光景を見たときは、言葉がでなかったのが実情です。

ボランティアの内容は、在宅避難をされている方に対して鍋の炊き出しをさせて頂きました。聞いたところによると、在宅避難されている方々は、家を流され避難生活をされている方に対して申し訳ない気持ちでなかなかボランティアの炊き出しに参加されないとのことでした。

わずかの休憩の間、年配の女性と話しました。「主人がまだ見つからないの。でも私は生きていただけ幸せかな。」被災された方達は、努めて自身を奮い立たせるようにしていたのが印象的でした。あの震災発生から一年が経過する。復興の道のりは遥か遠い。原発を始め多くの問題が横たわっている。「震災からの復興なくして日本の復興はなし」あの希望ある日本を取り戻す日まで。
 (担当：平光 史明)



2012				2011			
3月31日(出)	3月24日(出)	2月25日(出)	1月16日(月)	10月26日(水)	9月26日(月)	8月21日(日)	7月31日(日)
「まいど!! 青年部です」発行	「人に学び 人に磨く」23年度の総感謝						
「人に学び 人に磨く」23年度の総感謝							

平成23年度活動報告

FIELD OF 青年部 ～7人の若者たち～

青年部員は志木市を愛し、地域の発展・自社の発展に寄与すべく日々活動を行っています。

そこで、青年部活動で今光り輝いてる『若者』たちにその魅力などをあますところなく語ってもらいます！

- Q1.** 入部時と比べて地域において知り合いは増えましたか？
- Q2.** 入部時の自分と現在の自分を比べて成長したところは？
- Q3.** やりがいを感じた事や楽しかった事は？
- Q4.** 今後青年部活動において、あなたがやってみたいことは？

視野が広がった ————— 高野 円裕

- A1.** 増えました。休日でも偶然出くわしたりするので気が抜けません(笑)。携帯番号の登録件数も一気に増えましたね。
- A2.** 視野が広がった事だと思います。同業種の仲間や異業種の方々と接することで、様々な考え方を持つようになりました。
- A3.** あります。事業が終わった後でも、参加者や関係者の皆さんからの思い出話を聞いた時に、一番感じますね。
- A4.** 青年部がより一層のご愛顧を戴ける様な企画を行いたいです。行政や市民の皆さんから、「青年部にお願いしてみよう」と思ってもらえたら最高ですね！



Profile
 事業所名：高野建設(株)
 生年月日：1983.3.28
 青年部歴：5年
 趣味：スポーツ観戦、漫画

全てが学びでした ————— 上原 亮



- A1.** 増えました。青年部活動で多くの知り合い、仲間ができました。
- A2.** 色々な職種の方々がいるので、話を聞いたりする事によって仕事の取り組み方や考え方が変わりました。
- A3.** どんこまつり、市民まつり等、皆で笑いのあるイベントが無事に終わった時、やりがいを感じます。
- A4.** 青年部の交流を深め、イベント等で市民の人達と多く接する事ができればいいですね！

Profile
 事業所名：(株)上原水道
 生年月日：1979.3.27
 青年部歴：3年
 趣味：ドライブ、音楽鑑賞

「地域」の為に何が出来るか ——— 田中 健一



- A1.** はい、増えました。街中で青年部の仲間達と挨拶を交わすことが多くなり、他の地域から来た私も、志木の人になったことを実感しています。
- A2.** 「地域」に携わる事の面白さを知ることができ、「地域」の為に何が出来るかを考えるようになりました。
- A3.** 青年部での活動をたくさんの人前で主張する大会に出させて頂いたのですが、仲間達の熱い協力によって非常に有意義な時間を過ごせました。
- A4.** 志木にお住まいの皆さんと私達青年部が絆を深められるようなイベントをやりたいです！

Profile
 事業所名：読売センター志木西部
 生年月日：1978.7.31
 青年部歴：2年半
 趣味：料理・ドラマ・スキー

意識や考え方が変わった ————— 柳館 良幸

- A1.** はい。
 地元が秋田で知り合いがほとんどいませんでしたが、入部により一気に増えました。
- A2.** 私は従業員で、経営者や後継者の方々がおほとんどですが、そこから、仕事に対する意識や考え方が変わったところです。
- A3.** イベント等で、仲間や地域の人達が喜んでくれたときに、やりがいを感じました。
- A4.** 青年部員と交流を深め、地域の人達に喜んでもらえるようなイベントをしてみたいです！



Profile
 事業所名：(株)ユーブラン
 生年月日：1982.4.4
 青年部歴：3年
 趣味：ゴルフ・バイク

「志木」への愛着心が強くなった — 宮川 慎太郎

- A1.** 地元で知り合いが少なかったので、青年部を通して知り合いが増えました。
- A2.** 成長したというかはわかりませんが、青年部活動を通して、地元「志木」への愛着心は強くなったと思います。
- A3.** どんこまつりや市民まつりなど青年部全員の協力で企画して、その事業が成功したときは青年部のチカラを感じるとともにやりがいを感じます。
- A4.** 今以上の仲間作りをしたいですね！



Profile
 事業所名：(株)みやかわ
 生年月日：1983.3.7
 青年部歴：3年
 趣味：音楽・JPOP・ドラム・フェス…結局、音楽ですね笑

人前で話をする事に少し慣れてきました ——— 柴崎 義則



- A1.** 断然増えました。
- A2.** 人前で話をする事に少し慣れてきました。
- A3.** 皆で時間をかけて準備した企画に、多数の方が参加して下さった事です。
- A4.** 商工会青年部の活動をもっとたくさんの人に知って頂きたいですね！

Profile
 事業所名：ダンススタジオ F.style
 生年月日：1976.10.9
 青年部歴：1年半
 趣味：旅行

喜びややりがいを感じた ————— 那須 文益



- A1.** 増えました。入部前は知っている人は一人だけでしたが、今では知らない人のほうが少ないです。
- A2.** いろいろな業種の人がいるので、自分の知らないことを勉強できたり、そういった理由から視野が広がったところだと思います。
- A3.** イベントの企画や準備で仲間と協力し、その事業が無事にうまく成功したときに喜びややりがいを感じました。
- A4.** 青年部のメンバーと今まで以上に絆を深めることや市民の方に楽しんでもらえるイベントなどをみんなで作ってみたいです！

Profile
 事業所名：(有)那須工務店
 生年月日：1979.1.1
 青年部歴：7年
 趣味：買物・テニス



『みんなでカッピープロジェクト』 たくさんの笑顔をお見せしました。

志木市商工会のマスコットキャラクターになった「カッピー」を、より多くの市民の皆様にご覧いただき、親しんでいただくため、市民まつりの場をお借りして、カッピープロジェクトの一環として似顔絵を描いていただきました。

出来上がった似顔絵は、子供ならではの自由な発想と、のびのびとした表情で描かれ、見ていて心が和む、とても良いものばかりでした。

この「カッピープロジェクト」は、カッピーというキャラクターをきっかけに、商工会のことを少しでもご存知いただきたい、興味をもっていただきたいという思いで発案されました。

市民の皆様にとって商工会が、有益で興味を引く存在と認識されるよう、私達青年部員は日々努力を重ねていきます！

(コミュニティー・リレーションズ委員会：濱田 一樹/焼き肉研究所 029屋)



©志木市商工会/おくまこうじ



かっぱ巻き参加者の声を聞きました!!
過去2回は定員オーバーで参加できなかったため、今回は早めに並びました。皆と協力してかっぱ巻きが出来て楽しかったです。
(上宗岡在住・男性)

かっぱ巻き参加者の声を聞きました!!
今回初めて参加しましたが、とっても楽しかったです。娘も喜んでいました。来年も参加したいですね。
(本町在住・女性)



市民まつり 路上イベント (平成23年12月4日(日)開催)
～かっぱ巻きだよ! 全員集合!! 2011～

今年で3回目となり、すっかりおなじみになりましたかっぱ巻き。商工会青年部では中里かっぱ巻き隊長を筆頭に、市民の皆様と楽しみながらかっぱ巻きを作りました。

市民まつりのイベントのお手伝いができ青年部としても嬉しく思います。そして何より参加していただいた市民の皆様の笑顔が見られてとてもハッピーな気分になりました。

280名を超える皆様にご参加いただきまして、なんと、70.6メートルの長～いかっぱ巻きを作ることが出来ました。

市民の皆様のを結集させ、心を一つにして巻いた渾身の一本であったと思います。

みんなで力を合わせて成し遂げるって素晴らしいですね。

ご参加いただきました市民の皆様本当にありがとうございます。まだ参加されたことがない市民の皆様、是非ご参加お待ちしております!!

(コミュニティー・リレーションズ委員会：鈴木 忍/Fuola HAIR)

今回、かっぱ巻き隊長を務めた本町のお肉屋さん「肉の十八屋」の中里良樹君にインタビューしました!

一番苦労した点はどこですか?
 苦労って言うよりも一言で言えば責任重大でした。今年で3回目を迎えるにあたり過去のノウハウや経験はありましたがそのプレッシャーに負けないようにすること、参加していただける市民の皆様が迷わないで、解かり易く、かっぱ巻きを巻いていただけるかを考える事が、僕の苦労した点でした。



(かっぱ巻き隊長：中里 良樹/肉の十八屋)

青年部のみんなと、西川部長、大村特別常任委員、三上副隊長と、参加された市民の皆様とで、70mのかっぱ巻きを巻き上げ、無事に持ち上げた時はホッとしたのと、感謝の気持ちでいっぱいでした。本当に皆様ありがとうございました。

『みんなでカッピープロジェクト』で描いてもらった素敵な絵は、志木市商工会青年部のホームページで閲覧できます。

<http://www.shiki-impulse.com/>

志木串かつピー 500本完売しました!!

～B級グルメへのロードtoロード～

市民まつりでは青年部メンバーが考案した「志木串かつピー」が販売されました。デビュー戦にも関わらず、多くの方にお買い求めいただき、本当にありがとうございました。「青年部で何かB級グルメ出来ないかな?」とあるメンバーの発言からスタート。9月には商工会のキャラクターである「カッピー」を用いて青年部と地域の繋がりを考える例会が行われました。そこから具体化されたものが今回ブース出展で形となりました。今や、ゆるキャラとB級グルメは、街のPRには欠かせません。同じタイミングで「志木あらちゃん」が登場し、一躍全国区となってしまいましたけどね(笑)。でも、青年部メンバーは「志木はカッパの街!」と、我が「カッピー」にこだわり、語呂合わせで考案された新B級グルメ「志木串かつピー」。好評を得て完売しました。(コミュニティー・リレーションズ委員会：小池 寿彦/らーめんの小池さん)

志木串かつピー簡単レシピです! ぜひお試しください!
 <材料> 豚肉バラ肉・タマネギ
 衣…お好み焼粉・小麦粉 ピーナッツの粉末・生パン粉
 ソース…関西風だしソース、とんかつソース、ピーナッツ粉末をブレンド
 トッピングにピーナッツを砕いたものをふりかけて完成。ピーナッツ三層で風味豊か!
 ※ソースは数日寝かせるとピーナッツ風味が増しますよ!



INFORMATION

青年部員募集

来たれ! 若者!!
しています!!

青年部の仲間と知恵を出して活動し、志木の街を盛り上げませんか? 君の力を生かす場所がここにはある! 講習会や交流事業を通じての資質の向上、他業種の仲間との連携強化もできます。

本年度入部した仲間達です! (平成24年2月1日現在)



井上良輝 ニカイ治療院
吉澤龍也 (株)ノスク
元木洋羽 旬彩酒場 ZA座
工藤博士 武蔵内装術



市之瀬充範 ホルモン焼こちゃん2号店
植木新吾 アットシステム(株)
惣川将一 アクアステーションピュア
村田真太 旬彩酒場 ZA座



島田昭 島田内装
鈴木忍 Fuola HAIR
高橋良 男のガチンコ厨房 おうげん
穂坂泰 医療法人 瑞穂会



濱田一樹 焼き肉研究所 029屋

入部して、色々な職業の方と会い、様々な意見を聞くことができるのは、自分にとって、とてもプラスになります。部員それぞれが職業や個人の考え方によって、違う角度から物事をみえています。経営手法や経済動向、人と人との繋がりや絆、地域の生活や習慣など、これから役に立ちそうなことを得るチャンスが広がったと思います。

入部資格

満40歳までの、市内に事業所・営業所・自宅がある
経営者・後継者・従業員

お問い合わせ先

志木市商工会

☎048-471-0049

✉siki@an.wakwak.com

平成23年度委員長紹介 ~今年度委員会をリードした3人に感想を伺いました~

コミュニティー・リレーションズ委員会
委員長 平光 史明
(平光税理士事務所)



委員会名は、「地域と青年部をつなげたい!」そのような思いから命名しました。9月例会では、「カッピー」を用いて「地域と青年部がどのようにしたらつながるか」を考えた結果、「カッピー似顔絵企画」や「志木串かつピー」が誕生しました。本広報誌では、志木市商工会青年部としての「つながり」を形にすることができたのではないのでしょうか。私自身、大きな課題を前に試行錯誤を繰り返しながらの委員会運営でしたが、至らぬ自分を委員会メンバーが支えてくれました。本当に感謝いたします。

委員長職を通じて学んだことは、「いつも誰かに支えられている」ということです。

「一人では何もできない」と頭では理解していましたが、振り返ると青年部活動に限らず、仕事や家庭等あらゆる場面で誰かに支えられて今の自分がいることを実感しました。この経験を今後の人生に活かしていきたいと思えます。

ご協力いただいたみなさん、本当に一年間ありがとうございました!

ハートフル・ハッピー委員会
委員長 古田 征也
(株)ホープ印刷)



今年は委員長という大役を任せて頂きました。

委員会の名前は、皆が心から幸せと感じてもらえるような委員会活動を目指して名前を付けました。

年の割には(?)経験が浅く、戸惑う事も多かったのですが、他の2委員長とも協力し合い関係を深めることで、より良い事業にすることができたと感じています。委員会活動では、7月に家族親睦事業で北本自然観察公園にほたるを見に行き、1月には青年部の県外新年会として伊香保温泉に行き、青年部の絆を深めるための親睦事業を行いました。

一人では為し得ないことでも、委員会のメンバーや、他の青年部員の力を合わせる事によってできた今年度の活動は、私にとって財産となりました。今年一年本当に楽しく過ごせましたのも皆のおかげです。ありがとうございました!

エンジョイ・スタディ委員会
委員長 遠藤 貴博
(炭酒場カミナリ屋)



まずは一年間色々な事もありましたが、皆様のご協力のもと無事に委員長を務めさせて頂きまして、誠にありがとうございました。

振り返りますとあっと言う間でしたが、委員会名の通り楽しく活動ができたのは、支えてくれた仲間達のおかげなので、とても感謝しております。またこの委員会名の由来ですが、私自身があの勉強嫌いなもので、少しでもそのイメージを払拭させたいと思い、悪あがきで付けさせて頂きました。そんな私ですから最初委員長のお話を頂戴した時は、200%無いとも思ったのですが、よくよく考えるとこんな経験も今後の人生で無いと思わず、迷惑覚悟で引き受けさせて頂きました。経験してみてもとても勉強になったのは、人と人の繋がりが大きな力となって物事を現実させられる。また日々の積み重ねがそれを果たせる事ができるのだと、委員長職を通して強く実感させて頂きました。本当に一年間有難うございました。

編集後記

平成23年度の活動を開始しようとした矢先、東日本大震災が発生しました。それにより活動が一時自粛することになりました。自粛中、自分達ができることは何かを青年部員同士で何度も議論を重ねました。その結果、「青年部として活動を行うことで地域を支え、また復興支援に繋げていきたい」という思いで活動を再開することになりました。

今年度は、市民の皆様と青年部との繋がりを強く意識して活動して参りました。この「まいど!!」青年部です。を通じて、我々の存在や活動を広く知って頂くことで市民の皆様と繋がることができれば幸いです。さらにはこの「つながり」が地域の発展だけでなく、ひいては東日本復興の活力の一助になることを願っております。

コミュニティー・リレーションズ委員会一同

Website 見てね!!



志木市商工会青年部

検索

Click!!

どろんこイベントの事や市民まつりカップ巻きやカッピー似顔絵や青年部員のプライベート情報も満載! またまじめな勉強会の様子もご覧になれます! ブログもあるよ!是非検索してみてください!

<http://www.shiki-impulse.com/>

まいど!! 青年部です。 第31号

発行日:平成24年3月31日発行
発行者:志木市商工会青年部 部長 西川 和人
編集:コミュニティー・リレーションズ委員会
製作:有限会社アンジー
印刷:株式会社ホープ印刷
事務局:志木市商工会 志木市本町1-6-30 ☎048-471-0049
協力:読売センター志木西部 読売センター志木東部
読売センター志木柳瀬川 読売センター北朝霞